

「第2回大分市子ども・子育て会議」で出された主な意見

- 1 日時 平成25年10月9日(水) 13:30～15:45
 2 場所 大分市役所 8階大会議室
 3 参加者 委員16名参加(欠席委員3名)

4 委員からの主な意見と事務局回答

【議事(2)大分市の取組状況等について】

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○資料2のP.2…私立幼稚園の現状について詳細を報告させてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育～18:00くらいまで全園実施 1日平均のべ600～700名くらい利用(働いているが幼稚園教育を希望する保護者も利用している。) ・保育料～平均20,000円(教材費・給食費を除く)、就園奨励費等の補助有 	
<p>○資料2のP.4…保育ママについて現状は7施設、20名の利用だが、需要と供給のバランスを考えると、これでニーズに対応できていると言えるか。</p> <p>○待機児童が平成25年度は89名、先ほどの説明にあった774名というのは、潜在的なものを含めると、ということでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育ママについては増やす方向で、10名まで拡大する予定である。資格を持った保育ママに補助者をつけることも考えている。 ・待機児童については、前もって募集していて求職活動をしている方や、家庭で保育できるが入所希望をしている方等、保育所への入所の要件に当たらない方の応募を含めるとこの数になる。
<p>○資料2のP.14…平成25年度の待機児童は134名ということであるが、これは10月時点での数字か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。

【議事(3)基本指針について】

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○「幼児教育・保育の質の向上」という言葉が何度も出てきたが、幼稚園教員、保育士の質向上のための研修の充実、さらには保護者に対する親育てという観点、幼保小連携という点からも、今後の大分市全体での「教育・保育の質向上」のための取組はどのように考えているか。</p> <p>○(回答を受け)やはり質の高さを求めるには、研修の充実が欠かせないものと考えている。どの施設に通っていても、「大分市のすべての子どもたちが、生きる力の基礎を培うことができる」という明確な方針を市教委が打ち出していただけたらありがたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園制度は平成18年度からスタートしたが、文科省、厚労省の縦割り行政の弊害や、幼保連携の難しさ、幼稚園教員、保育士の勤務体制のあり方等の課題が挙げられている。それらの課題を踏まえ、27年度からの新制度では、子どもが、幼稚園籍、保育所籍などに関わらず、同一施設に入所している子どもとして、質の高い幼児教育・保育、そして子育て支援の機能を提供していく。そのためにも、今後、委員の皆様方からも御意見をいただきたい。 ・教育委員会としましても、幼児教育の質の高さを求めていく。委員さんから出た、幼保小連携推進の取組につきましても、23年度から市全体の会議を立ち上げ、今年度は、幼保小連携推進協議会という形で連携の取組を継続している。中でも7月に実施した研修会では、大分市内の幼保小の160施設の方にご参加いただいたところである。幼児

	<p>教育振興計画の中では、次代を担う子どもたちに生きる力の基礎を培うことが重要であるとの認識の下、具体的な取組を推進している。また、特別支援教育の充実も、質の高さの向上という点で重要であり、福祉保健部も連携しながら「質の高い幼児教育、保育の提供」に努めてまいりたい。</p>
<p>○この基本指針の中には、研修体制の充実等、施設の提供側の在り方(幼稚園教員、保育士の育成方法なども含む)等についても記述しておいたほうがよいのではないかと。そこら辺り、他の委員さんいかがでしょうか。</p>	
<p>○保育士等の育成に関しては、大分県のほうでは、幼稚園教員、保育士等の資格を持った人材バンク制度があり、現在登録数は 800 名程度いるが、今年度はその中から4名が就職した。大分市でもぜひともそうした人材確保に向けた取組を行ってほしい。</p> <p>○ナースバンクの取組も同様で、なかなかうまく就職まで結びつかない。そこには、働かない人には働けない人の事情がある。もしかすると、保育士等にもそのような事情があるかと思う。バンクに登録する、そこから就職まで結び付けるまでに、もう一工夫いるのではないかと。就職復帰までのきめ細かな対応が必要である。このような配慮も基本指針に盛り込んでほしい。</p>	
<p>○幼稚園教諭もあと何年かすれば、若い世代に入れ替わり、それまで培った保育のノウハウ等を継承が危惧される状況である。採用の面でもバランスを考えるなど配慮があればと思う。</p>	<p>・これまでの意見については、施設の整備等ハード面の議論に加え、教育・保育の質向上等を含めたソフト面に関する内容についても必要であるといったものと認識している。その点に関しては、今後の「事業計画策定」段階で議論してまいりたい。</p>
<p>○幼児教育の質の向上については、教育委員会が主体となって基本指針等の中に文章として盛り込むようにしていただきたい。</p>	
<p>○質の向上に関連して、発達障がい等を含めた特別支援教育の充実に関して、保育士等の研修の充実や県の事業との連携など考えられるが、その点について市はどうか。</p>	<p>・保育士等の研修については、現在も実施しており、巡回相談等の体制も整えているが、今後もさらに充実させていきたい。県の事業については、現在、連携等できていないが、どの施設にも必要な内容であることから、教育員会等とも連携しながら充実させてまいりたい。</p>
<p>○10月3日の国の会議で、就労形態で、夜間保育の必要性等も示されているが、市としては、今後、国が示した基準等は全て反映する形で取り入れようとするのか。第1子出産後に6割近くが仕事をやめるという実態が本市にもある。市では認定をするときに、就労形態が多様化する中、どういった範囲まで受け入れようとするのか。</p> <p>○資料4のP.11…1号認定等の在り方もどうかと思うが。</p>	<p>・これまでの保育の受け入れの要件には、「保育に欠ける」ということが大前提であった。新制度については、「保育に欠ける」から「保育の必要性」という視点から分けられたものであり、基本的に拡大していく方向である。国から示された基準や方針については、対象を拡大していくという方向で検討してまいりたい。</p>

<p>○本日出された意見をどのように基本計画等にの に生かしていくのか、次回提案はあるか。また、 今後の審議スケジュールはどうなるか。</p> <p>○(回答を受け)ニーズ調査で出てくるもの、出てこ ないものがあると思うので、例えば研修体制の 確立等、ぜひ反映していただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あくまでこの基本指針は、国から示された手引で あり、この中の第三に、市の事業計画策定が示さ れており、これに関して、保育の量的拡大、提供 体制等、本日出された意見等を踏まえて作成して まいりたい。 ・スケジュールについては、本日出された意見やニ ーズ調査結果等をもとに、来年の2月下旬を目 処に事業計画の案を示していく。
---	--

【議事(4)事業計画策定における区域設定について】

【議事(5)大分市子育てに関するニーズ調査について】

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○区域設定に関して、柔軟な対応をしていただい ているが、もう少し広い範囲での区域設定を考慮 するなど、更に柔軟な対応をしていただけたらと 思う。</p> <p>○就学前用のニーズ調査は、どの施設にも通っ ていない家庭はどうなるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局で考えた中で、1番は小学校区単位でと考 えたが、先ほど説明したように、保育所や幼稚園 は車や園バスでの送迎等の関係上無理があり、 もう少し広げる必要があるということで地区公民館 単位を最大のものと考えた。事業ごとにより、小 さい単位での把握ということもあるが、事業計画の 区域設定としては、地区公民館単位を考えてい る。 ・無作為抽出であるので、施設に通っていない保護 者からも回答をいただくことになる。
<p>○希望する校区は、就学前用ニーズ調査の P.10 の問 11-1 等で把握するということよいか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問 2 でお住まいの地区を問うており、問 11-1 にお いても、同様の番号を書いていただく。
<p>○ニーズ調査 2 ページの説明箇所で、「父母その 他の保護者には、子育て(教育)についての第一 義的責任がある」との記述があるが、大分市子 ども条例にあるように「保護者の責任」と明確に 打ち出してもよいのでは。</p> <p>○1, 2 ページは、文章が多いように感じるが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リード文につきましても、県と協議をしていく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【対応】1,2 ページは文章が多いため、子ども・子 育て支援新制度の記述を省くなど見直しを行っ た。</p> </div>
<p>○先ほどの、教員や保育士等の質の向上について 問う項目はあるか。</p>	
<p>○問 11 に関して、仕事をしながらも幼稚園教育を 希望する保護者等が回答するうえで、もう少し踏 み込んだ質問項目にならないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労状況と、問 11 の選択した施設との クロス集計を行うことで実態集約が可能となるの ではと考えている。
<p>○資料 7 の P.4 の問 7、「日常的に祖父母等の親族 に」とあるが、なかには、祖父母と同居はしてい ないが、祖父母宅へ預けて、仕事に出かけてい る家庭もあるのでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母と同居している、していないに関わらず、回 答をいただく質問と捉えている。
<p>○小学生用のニーズ調査 P.16 の問 17 と問 18 の 一番下の項目は、どう違うか。</p> <p>○小学生用にはあるが、就学前用の調査にも、現 状の施設に対する教育、保育内容の満足度につ いて問う項目があればと思うが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問 17 を削除 ・満足度に関する調査については、大分市でこの 調査以外にもいろいろなアンケートを実施して おり、その結果も参考にしていきたいと考えてい る。 ・保育所も同様である。
<p>○このニーズ調査の中で、満足度も尋ねてはど うかという意見であり、この調査の中で尋ねるべき ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の他のアンケートで、どれくらいの回答がある か、どれくらいの結果が得られるのか、そのこと も含め、検討していきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出での回答となることから、一部の施設が満足度の対象となり、これだけでなく、施設自体が行う調査等の結果も重要であり、それらを考慮したうえで、事業計画を策定していく。
<p>○就学前ニーズ調査の P.7 の問 10 で、利用している施設が選択されるわけで、利用している方には、その後に、「その施設を利用して満足されていますか」という趣旨の質問を新たに入れればよいのでは。問 10-4 の後あたりに。</p> <p>○幼稚園の満足度についてはあるが、他の施設についての満足度はないわけで、その点からは、就学前調査の問 10-4 の後に質問を設けるべきではないか。</p> <p>○小学生用には入っていて、就学前用には入っていない理由はあるのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の調査に入れていないが、小学生用の調査には、満足度の項目を入れている。この問で、就学前の施設の満足度について尋ねている。 ・幼稚園の教育内容に対する質問で、現在利用している方より、卒園させた後の小学生用に質問を設けている。また、この項目は、次世代育成支援行動計画の評価の指標になっている。
<p>○就学前の調査で、満足度を問わない理由は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、市独自に入れる質問項目は、次世代育成支援行動計画の評価指標であり、これ以上質問数が多くなると、回答者へ負担になるということも考慮した。が、満足度の内容も含めて再度検討していく。 <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【対応】大分県統一設問は、集計・分析に支障が出るとのことで、設問の追加や削除はできない。</p> <p>そのため、市独自設問において、教育・保育の満足度を問う設問を追加した。(問 29)</p> <p>また、満足していない方には、その内容を問う設問を追加した。(問 29-1)</p> </div>

5 今後のスケジュール等について

- 委員に皆様からいろいろな御意見をいただいたところであるが、このニーズ調査については、11 月中には調査票の発送が求められており、事務局で訂正させていただいた後は、会長、副会長にご一任いただきたい。委員の皆様には、会長、副会長との協議の経過等について後日御報告させていただきます。→ (了承)
- 次回の会議は、当初の計画に入れてなかったが、事業計画の全体的なアウトライン等についての審議を行っていただきたいことから、11 月下旬を考えている。その次の会議については、スケジュールどおり、ニーズ調査の結果を踏まえ、来年の 2 月頃を考えている。次回(第 3 回)の詳細の日程については、後日連絡させていただく。